

おひさま ニュース

2015
10月号
秋 号

〒294-0014 千葉県館山市山本1155番地 TEL:0470-25-5111 <http://www.awairyo.jp/>

発行責任者：水谷正彦 編集責任者：根本達也

薬剤師の仕事の 昔と今

院長 水谷 正彦



おひさまニュースも発刊後 3 年目を迎えました。その間、様々なニュースが掲載され、読者の皆さまや職員に、安房地域医療センターのことをいろいろ分かっていただけたことと思います。

今回は薬剤師の仕事に目を向けてみたいと思います。薬剤師の仕事も求められることが大きく変わってきています。

かつての薬剤師は薬剤室の中で調剤を行い、薬剤情報を収集し、狭い薬剤室から出ることはほとんどありませんでした。外来患者さまの投薬の際に説明をするだけで、入院患者さまと接することはほとんどなく、患者さまからは院内の薬局の人という印象でした。そのため、他の職種の人達と関わる機会もやや少ない存在でした。

そのような中、複数の病院、医院から処方された薬剤で、重複や併用禁忌がおこることを防ぐ意味から院外処方が推奨されてきました。平成 23 年、当院でも院外処方が採用されてからはますます患者さまと接する機会は減ってきました。

次には病院の薬剤師は病棟で活躍をするようにという方針が示されました。入院服薬指導が一般化しましたが、さらに、チーム医療の推進を通し勤務医の負担軽減を図る観点から、平成 24 年 4 月の診療報酬の改訂で病棟薬剤業務実施加算（薬剤師が、全ての病棟で週に

20 時間以上、明示された薬剤業務に従事することでできる加算）が新設されました。当院でも 3 階・4 階・5 階病棟それぞれに薬剤師がいるようになり、ようやく今年 8 月から算定する準備が整いました。現在当院には平田洋子顧問を筆頭に 7 名の薬剤師がおり、薬剤室から飛び出し、活躍しています。他の職員にも顔が見える存在になってきました。

病棟には医師、看護師、リハビリスタッフ、クラーク、医療相談員以外にも、検査技師、薬剤師もいるようになり多職種によるチーム医療が本格化してきました。

私には、殻を飛び出した薬剤師は以前よりもはつらつとして見えるのですが、皆さまの目にはどのように映りますか？

病棟の患者さまにも薬剤師が病棟にもいるのだということを早く認識していただき、「薬剤師さん」と声をかけてもらえるようになってほしいと思います。

以前の薬剤室の中から薬剤情報を発信していた状況から抜け出し、これからは「明るい笑顔で最適な医療を提供いたします」という当院の理念を実現するために、現場で実際に薬剤情報を役立ててくれることを願います。



当院の薬剤師

診療科のご紹介

総合診療科	消化器科	循環器科	腎臓内科	糖尿病甲状腺 内分泌内科	神経内科
小児科	リウマチ・膠原病・ アレルギー内科	膠原病内科	呼吸器科	皮膚科	腫瘍内科
外科	肛門科	整形外科	スポーツ整形	麻酔科	ペインクリニック
救急科	透析科	泌尿器科	乳腺科	放射線科	リハビリ テーション科

放射線科



写真1

当院の放射線科では、CT検査、MRI検査、核医学検査(RI)の画像診断をしています。思いがけない病気が検査で見つかった場合は、担当技師の呼びかけで集合し話し合いをすることもあり、放射線技師たちと協働して取り組んでいます(写真1)。また、血管の中に管を入れて、緊急時出血箇所の止血をしたり、腫瘍内の血管から直接薬を流す「血管内治療」も実施することがあります。

医局で行われるカンファレンス(症例検討会)では、画像の解説をしたり(写真2)、患者さまの病状について教えてもらったりしています。病院にいない時でも専用のタブレット端末で画像をチェックし、腸が破れているような緊急性の高い状態では、担当医に手術が必要であると電話をしたこともあります。

診断結果は依頼を



写真2

してきた主治医に報告するので、患者さまと接する機会は少ないのですが、画像を通じて皆さまの健康を守っています。

教えて!

かわむら先生!!

CT 検査って?

検査台に寝てトンネルに入り、体のまわりをX線を出す装置が360度回転し、輪切りの画像を撮影する検査です。

MRI 検査って?

磁石の力で体内を検査します。レントゲン検査やCT検査と違って放射線被曝(ひばく)はありませんが、検査はCTと比べて時間が長く、患者さまの入るトンネルも大きくなるのです。

RI 検査って?

弱い放射線を出す薬品(放射性医薬品)を注射して、脳や心臓など検査部位に集まった放射性医薬品を体の外から撮影して検査します。目的によって注射する放射性医薬品は異なるのです。

かわむら やすたか
河村 泰孝部長
放射線科

出身地 名古屋
“天ざるきしめん”が日本一うまいです

趣味

- 読書 週1冊以上読みます
- ゴルフ 最近奥さんと始めました
学生時代は野球・テニス・ラグビーをやっていました

房総の好きなところ 海と自然



薬剤室便り

お薬手帳を活用しましょう

お薬手帳とは、医師から処方された薬の名前や飲み方、飲んでいる量、日数などを記録しておく手帳です。

患者さまには薬の服用履歴になり、医師や薬剤師にとっては重要な情報源になります。複数の科や医療機関にかかっている場合は、飲み合わせや重複をチェック、副作用のリスクを減らすことができます。また、旅行や災

害時に診察を受ける際には、自分の薬の情報を正確に伝えることに役立ちます。

複数の薬局をご利用されている患者さまで、お薬手帳を何冊もお持ちの場合は、1冊共通のお薬手帳にまとめることをおすすめします。

医療機関や薬局に行くときは忘れずに、お薬手帳を持っていきましょう。



感染予防とリンクナース

看護部 リンクナース会リーダー 豊崎真希



リンクナース会メンバー

院内感染という言葉が一般的に知られていますが、当院には院内感染を監視・予防する感染制御チーム(ICT)があります。今回紹介するリンクナースとは、院内の各現場とICTをつなぎ院内感染を予防する現場の実行部隊といったところです。

リンクナースは、感染予防の研修会に参加したり、亀田総合病院の感染管理認定看護師を講師に招いて知識・技術を高めています。また、病棟部門と外来部門の看護師でリンクナース会を形成しており、各自の現場で感染対策の指導をしています。

感染予防策のなかで基本となるのは、「標準予防策」と言われるものです。そして、標

準予防策には、手指衛生(手洗い・手指消毒)や咳エチケットなどがあります。具体的な方法としては、食事を作る時や食べる時、排泄物を始末した後などの手洗いや、風邪気味の人がマスクを着けるという行為があります。身近なところでは、スーパーなどで見かけるアルコールの手指消毒剤の設置です。

医療従事者は様々なものに触れるので、手指衛生は欠かせない標準予防策のひとつです。リンクナースは、現場で正しい手指衛生が行われているかを定期的に観察(モニタリング)し、指導する活動をしています。また、職員向けに正しい手指衛生の研修会も行っています。

病院や商業施設など人の多く集まる場所では感染リスクが高くなると言われていますので、1年を通して手指衛生や咳エチケットなどの感染予防が重要になります。嘔吐・下痢の原因菌のひとつであるノロウイルスはアルコール消毒では死滅しません。手洗いをしっかり行い、咳やくしゃみのある方は、感染拡大を防ぐため、マスクを正しく着用しましょう。



栄養コラム

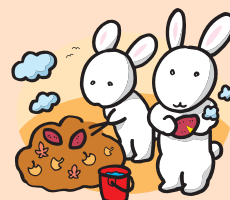
そうめん衣の和風スイーツ

管理栄養士 福田有里



夏に大活躍したそうめんと秋の食材・さつまいもを使って、サクッホッとしたおやつを紹介します。

さつまいもの自然な甘みとそうめんの塩味のバランスが新鮮です。小さなお子さんからお年寄りまで楽しめます。



<作り方>

- ① さつまいもを皮付きのまま輪切りにして水につけてアクを抜く。
- ② ①のさつまいもを柔らかくなるまでゆでて木べらでつぶし、熱いうちにバターと牛乳を加え、直径3cmに丸める。
- ③ そうめんをビニール袋に入れて1cmくらいに折る。
- ④ 丸めたさつまいもに小麦粉→溶き卵→そうめんの順につけ、180度に熱した油で衣がきつね色になるまで揚げる。

<材料> 約20個分

- さつまいも …… 約500g
- バター …… 大さじ1/2
- 牛乳 …… 大さじ3
- 小麦粉 …… 適宜
- 卵 …… 1個
- そうめん(細麺) …… 1~2束
- 揚げ油 …… 適宜

News

診察医師が増えました

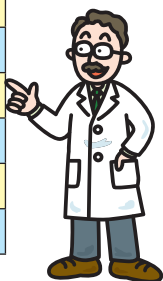
外科外来

平成 27 年 8 月から常勤の深澤基児医師と太田智之医師が着任したため、外科外来の診察医師が増えました。以前よりも予約が取りやすくなることが見込まれます。両医師は外来診察のほか、検査や手術、入院患者さまの治療を担当しています。

【外科外来 診療担当医表】 2015.10/1 ~

月曜日 午前	水谷 太田
火曜日 午前	水谷
水曜日 午前	深澤
木曜日 午前	水谷 角田
金曜日 午前・午後	上村
土曜日 午前	水谷

※土曜日は第2・4のみとなります



看護学生 実習



7月13日(月)から7月17日(金)の5日間、安房医療福祉専門学校の1年生のうち29名が安房地域医療センターで実習を行いました。

病院の役割やチーム医療の考え方、患者さまを支えている院内のいろいろな仕事をする人たちのつながりなどを学ぶという目的で、6グループにわかれて看護、医療技術、事務のあらゆる部門を見学しました。

編集 後記

おひさまニュースは年4回発行をしていますが、当院には広報を専門とする部署はなく、担当する広報スタッフは通常業務と兼任をして編集をしています。紙面の記事も、おひさまニュースのために筆者から寄せられたものばかりです。今号から根本達也リハビリテーション室長が編集責任者となりました。他新メンバー2名、



献血活動に協力

6月24日(水)に日本赤十字社の献血車が来ました。今回が2回目の協力で、職員を対象に約20名が献血をしました。今後も年に2回程度の活動を予定していますが、次回より一般の皆さまからのご協力が可能となります。



日時は新聞などに掲載される日赤からのお知らせをご覧ください



夏と言えばプールや泥んこ遊び、小麦粉粘土など、この時季ならではの遊びが盛りだくさん。ひまわり保育所ではボディーペインティングが大人気。絵の具を手のひらにつけ紙にペタペタ。楽しんでた子ども達は絵の具の付け合いも始まり、腕や足、お腹や顔までヌリヌリ! 全身が緑色や青色に。かえるさんに変身、海の中に入っているみたい、映画のアバターみたいと、驚きや笑い声が庭中に響いていました。汚れも気にせず絵の具に触れて思い切り遊べるボディーペインティングは最高!



創刊からのメンバー3名、合わせて6名のスタッフと亀田総合病院広報部門の協力を得ておひさまニュースをつくっていきます。これからも皆さまから愛されるおひさまのような存在をめざしてがんばります。

じゅんべりい

